

令和6年1月

発行

日立市さくらのまちづくり推進市民会議

編集

日立市都市建設部さくら課

〒317-8601

茨城県日立市助川町1丁目1番1号

TEL 0294-22-3111 (代表)

IP電話 050-5528-5041



さくらのまち日立
ガイドブック
HP

さくらのまち日立 ガイドブック

1 日立の桜の歴史

日立の桜の歴史をたどるとき、日立鉱山の創業、煙害の発生、そして企業の対策と住民との関わりを抜きにしては語れません。



大煙突とオオシマザクラ群
平成5(1993)年
倒壊し約1/3の高さに

01 煙害の発生とその対策(明治期)

明治38(1905)年、久原房之助^{くはらふさのすけ}によって買収され、日立鉱山として近代化が図られていく過程で、銅の製錬の際に排出される煙の中に含まれる「亜硫酸ガス」によって、近隣の農作物や山々の木々が枯れるという公害問題が発生し、地域住民や日立鉱山にとって大変な試練の時期を迎えました。

荒廃した環境を何とか回復させようと、当時の煙害対策の中心となった日立鉱山庶務課長^{かどや たろう}の角弥太郎は、伊豆大島の噴煙地帯に「オオシマザクラ」が自生することに着目して苗木を調達し、明治41(1908)年に試験的な意味も込めて社宅周辺にオオシマザクラを植樹しました。

また、明治42(1909)年には、煙に強い植物の開発や耐煙性樹種の苗木を育成するため農事試験場が設置されました。

02 大煙突建設と植林(大正期)

当時は、煙をできるだけ薄くし、低い煙突から排出して、狭い範囲にとどめることが、煙害を軽減する最良の方策であるとされていました。しかし、久原房之助は「煙を高煙突方式により高空に拡散し煙害を軽減する」という方策を考案し、大正3(1914)年12月に、高さ155.7m当時世界一の煙突を完成させました。その後、煙害は激減し、問題の解決をみることになります。また、農事試験場では、苦心の末、山林の植林に必要なオオシマザクラの発芽・苗木の生育に成功し、大正4(1915)年、本格的に植林が開始され、昭和7(1932)年までの18年間にわたり、推定約260万本のオオシマザクラを中心とする約500万本もの植林が行われました。

また、植林と同時に周辺地域の希望者に、大正4(1915)年度から昭和12(1937)年度の23年間で、約500万本もの苗木(うちオオシマザクラは約72万本)が無償で配布され、これらが日立の桜のルーツとなりました。



大煙突と荒廃化した山々
(大正中期)

目次

1	日立の桜の歴史	1
2	日立を代表する桜の名所	
1	平和通り	3
2	かみね公園	5
3	鞍掛山	7
4	十王パノラマ公園	8
3	日立のお花見スポット	
1	十王地区	9
2	日高・豊浦地区	11
3	本庁地区	13
4	多賀地区	15
5	南部地区	17
6	西部地区	19
4	日立で見ることができる主な桜の開花時期	20
5	日立で見ることができる主な桜	21
6	日立の桜を巡るモデルコース	23
7	日立の桜の現状と課題	25
8	日立の桜に関する年表	27
9	アクセス一覧	29

03 オオシマザクラからソメイヨシノへ

オオシマザクラがうまく育つようになると、この苗木にソメイヨシノを接ぎ木して、桜の苗木を多量につくりだしました。日立鉱山所長の角弥太郎は、この花の美しさに着目して、大正6年の頃に社宅、学校、道路、鉱山電車線路沿いなどに約2,000本を植えさせました。これが、当市の春を彩るソメイヨシノの群落のルーツです。その後も、農場では、オオシマザクラをはじめとする耐煙樹種の苗木と、このソメイヨシノの苗木が生産され、市内各所に植えられるようになりました。

04 平和通りとかみね公園

平和通りは、戦後の戦災都市復興計画により昭和26(1951)年に全線開通し、「国土緑化運動」の一環として植えられた桜が契機となり、地元の人たちの協力によって、75本のソメイヨシノが植樹されました。その後も植樹され、現在では約120本の桜並木になって、毎年4月の開花時期には「日立さくらまつり」が開催されるなど多くの人たちでにぎわっています。

また、桜のもう一つの名所であるかみね公園は、昭和28(1953)年に「神峰公園整備促進会」が結成され、市民の献木運動と奉仕作業により108本の桜が植樹されました。

その後も、市民記念植樹運動(誕生記念、入学記念、結婚記念等)により植樹が進められました。



日立市の大煙突にまつわる歴史をモデルに、直木賞作家 新田次郎が小説『ある町の高い煙突』を執筆し、令和元(2019)年には、映画製作されました。そこには、市民と企業が協働して煙害を克服した日立市の力強い歴史が描かれています。

2 日立を代表する桜の名所

1 平和通り

日本の「さくら名所100選」



日立を代表する平和通りの桜並木



平和通りのライトアップ



若木植樹後の様子

平和通りは、戦後の戦災都市復興計画により昭和26(1951)年に全線が開通し、街路樹として地元の人たちの協力によってソメイヨシノが植樹されました。日立駅前から国道6号まで約1kmの日立を代表する桜の名所となっています。かみね公園と合わせて、日本の「さくら名所100選」に選ばれており、見事な桜のトンネルが訪れる多くの人々を魅了します。

なお、桜のトンネルを次世代に引き継いでいくためにも、衰えの見える樹木については、順次植え替えを進めています。

- 所在地 日立市平和町～神峰町内
- アクセス 常磐線「日立駅」より徒歩1分
- 駐車場 あり(有料)

イベント

日立さくらまつり

4月上旬開催



桜と伝統芸能の祭典

平和通り・かみね公園・十王パノラマ公園を会場に繰り広げられるさくらまつりは、伝統芸能である「日立風流物」(国指定重要有形・無形民俗文化財。ユネスコ無形文化遺産。高さ15m、奥行7m、幅3～8m、重さ5tの山車でからくり仕掛けの人形芝居を披露する)や「日立のささら」(県指定無形民俗文化財、水木・諏訪・成沢・助川・会瀬・宮田・大久保の7地区に江戸時代から伝わっている獅子舞)の公開などのイベントが催され、夜には平和通りのライトアップ、かみね公園や十王パノラマ公園では、ぼんぼり点灯による光の彩をお楽しみいただけます。

日立さくらロードレース

4月上旬開催



桜のトンネルを駆け抜けるランナー

「日立さくらロードレース」では、親子連れから本格派までたくさんの方々が、桜のトンネルの下を駆け抜けます。また、普段、歩行者は立ち入れない「日立シーサイドロード(国道6号日立バイパス)」もコースの一部になっており、ランナーたちは海の上を走っているような絶景を眺めながらゴールを目指します。



2 かみね公園

日本の「さくら名所100選」



かみね公園頂上広場の様子



国道6号からの眺望



植替え後の桜並木

鞍掛山の山裾に続いているなだらかな丘陵地に広がっているのが「かみね公園」(広さ約15ha)です。昭和28(1953)年に開園した総合公園であり、日立市の中心部に位置し、園内の各所からは市街地や太平洋、周囲の山並みの眺望を楽しむことができます。園内外には、日立市固有の早咲き桜である日立紅寒桜や日本で広く植樹されているソメイヨシノ、4月中旬頃から咲くサトザクラなど約1,000本の桜が咲き誇ります。中には「ギョイコウ(御衣黄)」という黄緑色の花を咲かせる珍しい桜もあり、見る人の目を楽しませてくれます。また、4月上旬から下旬にかけ、園内の展望台からは、桜色に染まった市内を一望することができます。

なお、平和通りと同様、植樹後60年余となり衰弱が進んでいるソメイヨシノから、計画的に若木(ジンダイアケボノ)の更新に取り組んでいます。

- 所在地 日立市宮田町5-2-22
- アクセス 常磐道「日立中央IC」より車で10分
- 駐車場 あり

施設

かみね動物園

昭和32(1957)年に開園し、65年を越える歴史を刻むかみね動物園は、太平洋を一望できるとともに、約100種540点の動物たちに出会える、市内外に誇れる動物園となっています。

近年では、生き生きとしたチンパンジーの行動が見られる「チンパンジーの森」、爬虫類とウミウの展示を組み合わせた「はちゅういぬ館」、猛獣の迫力を身近に楽しめる新猛獣舎「がおーこく」などの新しい獣舎が続々オープンするなど、日立市を代表する観光拠点となっています。



アットホームな動物園



かみね公園頂上展望台から望む

かみねレジャーランド

昭和58(1983)年に開園した「かみねレジャーランド」は、緑豊かな自然に恵まれた丘の頂上に位置し、市街地や太平洋、阿武隈の山並みまで360度の景観を楽しむことができる「大観覧車」や、爽快感とスリル満点の「ジェットコースター」など約15種類の乗物やゲームコーナー、フードコーナー等を備えたレジャー施設です。

開花の標本木

日立市の桜の開花は、かみね公園南駐車場にある標本木の開花状況を観測し、日立市天気相談所が毎年発表を行っています。



開花を宣言する「標本木」

くらかけやま
3 鞍掛山



中央に小高く見える鞍掛山

鞍掛山は、標高247.2mの小高い山です。煙害により大きな被害を受けた鞍掛山は、荒廃化した山林の自然を再生する目的で、企業と市民が協働して桜を植え始めたことが、さくらのまち日立の始まりです。約100年前の植林により、オオシマザクラの子孫など約520本の桜が現在も息づく貴重な山です。

- 所在地 日立市宮田町地内
- アクセス 常磐道「日立中央IC」より車で10分
- 駐車場 あり

イベント

鞍掛山さくらの山づくり整備活動

日立市のシンボルである桜を次の世代に引き継いでいくため、平成19(2007)年から、再び市民と企業がともに「住民参加の世代を越えた22世紀のさくらの山づくり」をコンセプトに整備活動を行っています。



4 十王パノラマ公園



UFO型展望台と桜



十王ダム湖を望む



上空から見た園内の様子

十王ダムを見下ろす高台にある十王パノラマ公園。公園のシンボルとして建設された高さ20mのUFO型展望台の最上部からは、眼下に十王ダム湖を満開の桜越しに眺望することができます。面積約4.4haの園内にはソメイヨシノやヤマザクラ、ジュウガツザクラ、フユザクラなど35種約400本の桜があり、長い間花を楽しむことができます。

- 所在地 日立市十王町友部1085-6
- アクセス 常磐道「日立北IC」より車で10分
- 駐車場 あり

3 日立のお花見スポット



1 十王地区

1 楡形幼稚園



園庭には数多くのソメイヨシノが植えられており、美しい桜並木は、長年にわたり、子どもたちを優しく包み込むとともに成長を見守り続けています。

2 十王スポーツ広場



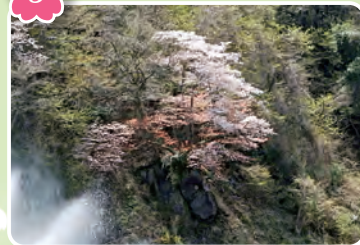
施設も充実し、来場者が多数訪れる十王スポーツ広場には、多くの桜が植樹されており、グラウンド入口には樹齢が若く、樹勢も良好なヨウコウが濃いピンク色の花を咲かせています。

3 十王中学校



中学校へ向かう坂や校庭には、長い間生徒たちを見守り続けるソメイヨシノがあります。その周りにはいつも生徒たちの笑顔が輝いています。

5 十王ダムの石割桜



十王ダム湖の対岸にある、湖のほとりに立つ巨大な岩の上に、まるで石を割って生えたかのようなヤマザクラが咲いています。

地域が選んだ「わがまちの桜23選」

市内の各コミュニティ23地区から、身近なところで咲き誇る桜の名所地を「わがまちの桜23選」として、さらにその中から地域の皆様とともに守り育てていくシンボルの桜1本を選んでいただきました。

今後は、見守り活動などを通して、桜を次世代に引き継いでいく活動に結び付けられるよう取組を進めていきます。

各ページに

23選

として表示



4 十王パノラマ公園 (P8参照)
(日立を代表する桜の名所)

6 にじゅうさんやそん 二十三日尊の桜



付近に二十三日塔があり、地元の人々から「二十三日尊の桜」と親しまれている巨大なヤマザクラが立っています。高さは約20mで、幹の太さも約4mもあります。

7 たかはら自然塾



地域の自然環境を活用し、様々な体験ができる体験型施設です。特に春には、大自然に囲まれた中で咲き誇る桜を楽しむことができます。



十王地区の各スポットマップ

2 日高・豊浦地区



日高
豊浦

8 十王川周辺



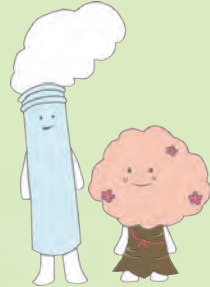
旧日立電線豊浦工場による工場緑化のため、昭和38(1963)年頃から多くのソメイヨシノが植樹されました。川沿いに咲き誇るソメイヨシノが美しく、開花時には桜のトンネルが現れます。

9 かわじり第1児童公園



平成18(2006)年に植樹されたシダレヤマザクラです。この桜は、豊浦学区まちづくり推進会発足記念として植えられ、地域の宝として、多くの人々に愛されています。

23選



10 小木津山自然公園



小木津山自然公園は、昭和46(1971)年に開設されました。園内には、オオシマザクラ、ヤマザクラ、サトザクラ、ソメイヨシノが植樹されており、多種多様な桜を楽しむことができます。

11 日高交流センター



センター内には、旧日高小学校時代の古木ソメイヨシノ、平成初期のシダレザクラ、日立市固有種の「日立紅寒桜」や「おぎつやよい」が植樹され、長い間、地域住民に愛されています。

23選

12 しゅくひがし児童公園



公園の周りには、美しいソメイヨシノの木々が立ち並び、訪れる人々を楽しませてくれます。木々は、季節ごとに訪れる人々に喜びと安らぎをもたらしています。

13 どしまえ児童公園



園内には、ソメイヨシノや八重桜などが植樹されており、良好に生長しています。春になると、咲き誇る桜が地域住民の癒しとなっています。

23選



日高・豊浦地区の各スポットマップ

3 本庁地区



14 大煙突展望台



鞍掛山から神峰山へのハイキングコースには、大煙突を間近で見られる展望台があり、煙害対策のため植林されたオオシマザクラの美しい景色を楽しむことができます。

15 滑川交流センター



平成13(2001)年開催「第13回さくらサミットINひたち」で岐阜県根尾村(現在の本巢市)から贈呈された、国指定天然記念物のウスズミザクラの子孫です。

18 熊野神社



ソメイヨシノが数多く植えられた境内は花見の名所です。境内には、本殿・拝殿の周囲の大木を含め、隣接の園地と参道に枝ぶりの見事な桜があります。

19 諏訪台桜塚三角公園



昭和9(1934)年に、日立鉱山所長の角弥太郎氏の桜植樹の功績を称えて建立された「桜塚」の記念碑と歴史あるソメイヨシノが植樹されています。

20 消防拠点施設防災広場



日立製作所の社宅であったこの付近は、かつて桜の名所でした。1本残るシダレザクラが往時を偲ばせます。後になって植樹されたソメイヨシノが、現在では立派に生長しています。

21 宮田小学校



校門に覆いかぶさるように枝が伸びたソメイヨシノは、長年にわたり子どもたちの成長を見守り続けています。

22 中小路小学校



校庭の外周には多くのソメイヨシノが植樹されており、学校と共に長い歴史を歩んできました。

24 助川小学校「五代桜」



日露戦争の戦勝記念として、明治38(1905)年に植樹されたソメイヨシノです。樹齢は100年を超え「五代桜」と命名され、日立市のシンボルとなっています。

25 会瀬小学校



平成19(2007)年に助川小学校の五代桜の後継樹苗を植樹し育成したソメイヨシノです。五代桜の後継樹として良好に生育しています。

26 日立工業専修学校



校庭の桜は、樹齢が長く見事なものです。また、学校への進入路沿いのソメイヨシノは、学校と地域のシンボルとなっています。

27 助川山



平成3(1991)年に起きた山林火災により大規模被害を受けた森は、自然の驚異的な力で回復し、今では人の心を魅了する美しい風景を見せてくれます。



16 鞍掛山 (P7参照) 17 かみね公園 (P5参照) 23 平和通り (P3参照) (日立を代表する桜の名所)



本庁地区の各スポットマップ

4 多賀地区



多賀

28 多賀中学校



23選

正門近くにあるヤエベニシダレは、ソメイヨシノより少し遅く咲く桜です。通り沿いに面し咲くこの桜は、通りすがりの人々を楽しませてくれます。

29 諏訪のヤマザクラ



樹齢500年といわれる市内最古参の桜である「諏訪のヤマザクラ」です。昭和49(1974)年には日立市天然記念物に指定されています。

30 いしうち 石内さくら公園



23選

石内団地の公園には、良好に生育するソメイヨシノの大木が立ち並び、子どもたちの遊ぶ姿と相まって元気を与えてくれます。

31 桜川緑地



緑地には、約120本の桜が咲き誇り、特にみぎくらはし東側の「花見広場」とその西側の「中央広場から上孫橋」にかけての桜並木が見所です。

32 大久保小学校



長年にわたり、ソメイヨシノの大木は、その枝を広げ、高くそびえ立ちながら、子どもたちの成長を見守り続けています。

34 日立グローバルライフソリューションズ(株)多賀事業所



23選

事業所のエントランスの両側にソメイヨシノが列植されており、さくら通りとして認知度も高く、地域住民も開花を楽しみにしている場所です。

35 塙山小学校



23選

昭和54(1979)年の創立当初に植樹したソメイヨシノが大木となり、その雄姿は児童をはじめ学校を訪れる人々を楽しませてくれています。

36 大沼小学校



23選

校舎近くにあるソメイヨシノは、傘状に枝を広げ良好に生育しており、小学校の標本木として児童を始め、地域住民にも大事に見守られています。

33 おおくぼさくら公園



23選

公園に植えられたベニシダレは紅色の美しい花を咲かせ、地域のシンボルとして親しまれています。公園の名称は、大久保小学校の児童が名付けたものです。

37 台原中央公園



23選

ソメイヨシノが多く育つ公園内の中に、枝を広げた、大輪の八重桜で花の紅色が濃いカンザンが、絢爛豪華さを醸し出しています。

38 日輪寺



23選

山門脇の推定樹齢400年のヤマザクラの古木は、日輪寺のたたずまいと調和し、ソメイヨシノとの競い咲きが見事です。ライトアップされる夜桜も風情があります。

39 もりやま児童公園



太い幹から大きく枝を広げ、公園で遊ぶ子どもたちをいつも見守り続けるオオシマザクラ。オオシマザクラの周りにはいつも子どもたちの元気な声が響き渡っています。



多賀地区の各スポットマップ

5 南部地区



40 大みか小学校



校内には数種類の桜があり、教材としても大変貴重で、校庭の南側にあるオオシマガクラは、春には白い花が、ひときわ目を引く存在となっています。

41 日立研究所



豊かな自然に恵まれ、太平洋を眼下に望む小高い丘に研究所はあります。正門から本館までの通りに数多く植樹されたソメイヨシノの並木が美しく、桜のトンネルが姿を現します。

42 みなみこうや第2児童公園



公園を囲むようにソメイヨシノが植えられています。隣り合う桜は、枝を交差させながら大きく生長し、満開の桜の見応えは圧巻で、地域住民にも親しまれています。

43 いしがさく児童公園



静かな住宅地に位置するこの公園は、春の訪れとともに、地域住民にとって華やかなお花見が楽しめる憩いの場所となっています。

44 日立港都市再開発用地



道の駅「日立おさかなセンター」北側の広場と瀬上川沿いの散歩道は、カワツザクラをはじめ、シュゼンジカンザクラ、日立紅寒桜など、早咲きの桜の名所となっています。



南部地区の各スポットマップ

6 西部地区



45 奥日立きららの里



自然に恵まれた広大な敷地には、ソメイヨシノを中心として、ヤマザクラやサトザクラ類の桜のほか、日立市固有の桜である「日立紅寒桜」が植樹されています。

46 ゆがさき 油ヶ崎神社



油ヶ崎神社は、下深荻地区の鎮守とされています。境内の桜の生長は良好で、春の時期は、赤い鳥居と豊かな桜のコントラストが風情を醸し出しています。

奥日立
きららの里

45

47 中里小中学校



中里の豊かな自然に囲まれた学校の校舎の南側には、大きく枝を伸ばしたソメイヨシノが咲き誇ります。里川沿いから見上げるように観賞することができます。



西部地区の
各スポット
マップ

4 日立で見ることができる主な桜の開花時期

日立市には、ソメイヨシノのほかに様々な桜が見られます。あなたのお住まいの近くの公園にもあるかもしれません。お散歩がてら、お気に入りの桜を探してみたいはいかがでしょうか。

名称	10月			11月			12月			1月			2月			3月			4月			
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
日立紅寒桜																						
おぎつやよい																						
ひたち雅																						
カワツザクラ (河津桜)																						
シュゼンジカンザクラ (修善寺寒桜)																						
ソメイヨシノ (染井吉野)																						
オオシマザクラ (大島桜)																						
ヤマザクラ (山桜)																						
ジンダイアケボノ (神代曙)																						
フゲンゾウ (普賢象)																						
アマノガワ (天の川)																						
カンザン (関山)																						
ギョイコウ (御衣黄)																						
ジュウガツザクラ (十月桜)																						
フユザクラ (冬桜)																						

※天候によって開花の時期は前後する場合があります。

5 日立で見ることができる主な桜

🌸 日立市固有の桜

🌸 日立紅寒桜(ひたちべにかんざくら)



花の特徴: 一重咲きで淡紫ピンク色
開花時期: 1月中旬～3月上旬
植栽場所: かみね公園、多賀市民プラザなど。

JR常磐線小木津駅構内に生育していた寒桜を調査した結果、新品種であることが分かり、平成13(2001)年に市民公募により「日立紅寒桜」と命名されました。原木は枯れてしまいましたが、芽接ぎなどの方法で苗の増殖に成功し、平成18(2006)年に新品種として農林水産省に登録されました(品種登録名:日立紅寒)。

🌸 おぎつやよい



花の特徴: 一重咲きで淡紫ピンク色
開花時期: 3月中旬
植栽場所: 日高交流センターなど。

JR常磐線小木津駅構内に生育していた「日立紅寒桜」の樹冠下で発見された実生苗から育てられた品種です。地域住民からの意見を基に、苗の発見場所と3月に開花する早咲きであることから、「おぎつやよい」と命名され、平成29(2017)年に新品種として農林水産省に登録されました。

🌸 ひたち雅(みやび)



花の特徴: 八重咲き 明るい淡紫ピンク色
少し芳香がある
開花時期: 4月上中旬
植栽場所: 池の川さくらアリーナ、日立市役所など。

(公財)日本花の会桜見本園において実生苗から育てられた品種で、日立市民運動公園内に建設された「池の川さくらアリーナ」の開館記念として、平成29(2017)年に寄贈されました。市民公募により、優美で華やかな品位を感じさせる花の印象から、「ひたち雅」と命名され、同年に新品種として(公財)日本花の会に認定されました。

ソメイヨシノ(染井吉野)



花の形: 一重咲き
開花時期: 4月上旬

現在、日本で最も広く栽培されている品種です。エドヒガンとオオシマザクラが交配して誕生したと考えられており、江戸末期に、江戸染井村で吉野桜と名付けられて広まったと伝えられています。

👉 日立の桜のルーツ

オオシマザクラ(大島桜)



花の形: 一重咲き
開花時期: 4月上中旬

伊豆から房総に分布する野生種で、葉や花が大きく花に芳香のあるものが多く、白い花が咲くと同時に緑色の葉が出るのが特徴。鉢山の煙害を克服するため植林された日立の桜のルーツとなっています。

ヤマザクラ(山桜)



花の形: 一重咲き
開花時期: 4月上中旬

本州、四国、九州に分布する野生種です。白い花と同時に開く赤みの強い若葉が美しく、古来より鑑賞の対象とされた桜です。奈良の吉野山や桜川市は有名な名所地です。

フゲンゾウ(普賢象)



花の形: 八重咲き
開花時期: 4月中下旬

東京府江北村(現・東京都足立区)の荒川堤で栽培されていた品種です。その名は室町時代から知られ、2本の雌しべが葉化して長く突き出した様子から、普賢菩薩が乗っている白象に似ているのでこの名が付いたと言われています。

カンザン(関山)



花の形: 八重咲き
開花時期: 4月中下旬

東京府江北村(現・東京都足立区)の荒川堤で栽培されていた品種です。花色が濃紅色で美しく、生育もよいので海外でも広く栽培されています。また、お祝いの席で出される桜湯には、この花の塩漬けが用いられます。

ギョイコウ(御衣黄)



花の形: 八重咲き
開花時期: 4月中下旬

緑色の花に由来する高貴な色の名がついた桜。花弁に緑色の筋が入る珍奇な花色で有名な栽培品種。品種名はこの花色を貴人が着用する衣服の色に見立てたものと言われています。

6 日立の桜を巡るモデルコース

歩いて散策コース



10:00

▶P3・4

1 平和通り

滞在約30分

1kmに約120本のソメイヨシノが咲き誇る

10:45

15分 (1.2km)

▶P13

2 諏訪台桜塚三角公園

滞在約10分

角弥太郎氏の記念碑と歴史のあるソメイヨシノは必見

11:05

10分 (800m)

▶P13

3 熊野神社

滞在約20分

満開の桜は圧巻 知る人ぞ知る穴場スポット

11:35

10分 (800m)

▶P13

4 消防拠点施設防災広場

滞在約15分

歴史を感じさせる古木のシダレザクラは一見の価値あり

12:00

10分 (800m)

▶P5・6

5 かみね公園

滞在約120分

園内外に、約1,000本の桜が咲き誇る散策スポット
お昼はかみね動物園内にある‘エレファントカフェ’で
ゾウを見ながらのんびりランチタイム!



車またはタクシーコース

9:00

▶P8

1 十王パノラマ公園

滞在約60分

大パノラマに広がる35種約400本の桜は壮観

10:10

10分 (3.5km)

▶P11

2 十王川周辺

通過

川沿いに咲き誇るソメイヨシノが美しく、開花時には桜のトンネルが出現

10:25

15分 (5.0km)

▶P11

3 小木津山自然公園

滞在約60分

多種多様な桜が植樹され、自然を大満喫できる人気スポット

11:35

10分 (3.5km)

▶P13

4 滑川交流センター

滞在約15分

国指定天然記念物のウスズミザクラの子孫が植樹

12:00

10分 (3.5km)

▶P5・6

5 かみね公園

滞在約120分

園内の展望台から、桜色に染まった街並みと太平洋を一望
お昼は近隣に位置する‘吉田正音楽記念展望カフェ’で
ホッと一息!



7 日立の桜の現状と課題

01 日立市の桜の現状

日立市には、公園、街路樹、学校などの市有施設や企業、民地などに植えられた桜があり、多くの市民に愛され、春にまちを華やかに彩ります。

平成2(1990)年には、平和通り・かみね公園が日本の「さくら名所100選」に認定され、例年4月に開催される「日立さくらまつり」では、平和通りが約1kmの桜のトンネルとなり、訪れる市民や多くの観光客を笑顔にする、日立市の貴重な財産となっています。

近年では、植樹されてから長い年月を経ている桜が、病気の影響などにより空洞ができて、枯枝が増えたりするなど、樹勢が衰えている状況が多く見られます。



平和通り古木の様子



樹勢が衰え健全度が低下した桜

02 日立市の桜の課題

- (1) 桜の衰弱化
- (2) 企業・民地の桜の管理と保全
- (3) 桜を大切にす意識の醸成
- (4) 桜を守り育てる活動や技能を学ぶ場の提供
- (5) 桜の名所の魅力向上
- (6) 桜を活かした地域活性化

03 日立市の目指す「さくらのまちづくり」

日立市のシンボルである桜を次世代に引き継ぐとともに、桜を活かしたまちづくりを推進するため、日立市の桜の現状や課題等を踏まえ、10年後の「さくらのまちづくり」の目指すべき姿として、令和4(2022)年5月に基本理念及び基本方針を定めた「～ひたちさくら彩(いろ)プラン～日立市さくらのまちづくり基本計画」を策定しました。

基本理念

日立市のシンボルである桜を次世代に引き継ぐとともに、桜を活かしたまちづくりを推進することにより、まちの活性化につなげる

基本方針 ～4つの方向性～

「さくらのまち日立」の原風景を次の世代に引き継ぐまちづくり

誇れるふるさとのシンボルとしての意識の醸成

さくらのまちづくりによる地域の活性化

桜を活かした魅力的な交流拠点の創出



詳細は「ひたちさくら彩(いろ)プラン」で検索

04 「さくらのまち日立」に向けて

さくらのまちづくり実現に向け、「ひたちさくら彩(いろ)プラン」の基本施策に基づき、活動に取り組んでいます。



地域コミュニティによる桜を守り育てる体制づくり



名木の保全と樹勢回復



「さくら教室」の開催



植樹祭の開催



SNSを活用した桜の情報発信



「ひたちらしさ」を演出する市固有の桜名所づくり



平和通り桜更新事業



かみね公園桜更新事業



鞍掛山さくらの山づくり整備活動

桜の重要管理拠点の再整備

8 日立の桜に関する年表

和暦(西暦)

煙害の発生とその対策(日立鉱山)

- 明治38(1905)年 久原房之助が赤沢銅山を買収。「日立鉱山」と改称し創業する。
- 明治40(1907)年 入四間・下・笹目集落で煙害に関する初の交渉が行われる。
- 明治41(1908)年 社宅周辺に「オオシマザクラ」を試験植樹する。
- 明治42(1909)年 煙害激化の兆しが現れる。交渉により賠償金の支払、苗木の配布などの協定を結ぶ。被害地域拡大(日立、豊浦、高鈴、国分、久慈等の1町6ヶ村)。
- 明治43(1910)年 オオシマザクラを中心に約21haの植林を開始する。
- 明治45(1912)年 オオシマザクラの苗木3,000本を入四間集落に無償配布する。

明治

大煙突建設と植林

- 大正3(1914)年 オオシマザクラの種子から苗木を育てることに成功する。
- 大正4(1915)年 155.7mの世界一の「大煙突」が通煙を開始。煙害が激減する。
【大煙突完成は大正3(1914)年】
自然回復のため、鉱山付近から周辺山地一帯に植林事業を本格的に開始。昭和7(1932)年までに約1,190haの山野に約500万本(うちオオシマザクラは約260万本)を植林する。この頃から昭和12(1937)年まで周辺地域の希望者に、苗木約500万本(うちオオシマザクラ約72万本)を無償配布する。
- 大正6(1917)年 オオシマザクラの苗木を台木としてソメイヨシノを接ぎ木し、約2,000本を鉱山社宅・学校・道路・鉱山電車沿線などに植える。(当時の日立鉱山所長は角弥太郎)

大正

住宅周辺への植樹：戦前・戦時期

- 昭和3(1928)年 御大典記念行事(昭和天皇即位)の一環として、本山から大雄院までの県道沿いなどに、ソメイヨシノ700本が本山住民の勤労奉仕で植樹される。
- 昭和9(1934)年 日立製作所日立工場長の高尾直三郎が、角弥太郎の桜に対する業績を記念し、諏訪台に「桜塚」の石碑を建立する。昭和17(1942)年までに日立製作所社宅周辺(会瀬・山根・上の内・石内)、日立総合病院周辺、多賀病院周辺にソメイヨシノが植樹される。

昭和

平和通りとかみね公園：戦後期

- 昭和26(1951)年 平和通り(国道6号～けやき通り)に国土緑化運動の一環としてソメイヨシノ75本が植樹される。
- 昭和28(1953)年 かみね公園が開園。神峰公園整備促進会による献木運動で桜108本が植樹される。その後も植樹が進む。
- 昭和38(1963)年 日立さくらまつりが始まる。
- 昭和43(1968)年 日立市の煙害克服の物語である「ある町の高い煙突」が新田次郎によって小説化される。
- 昭和52(1977)年 日立市の花に「サクラ」が選定される。平和通り(日立駅～けやき通り)にソメイヨシノが植樹され、約1kmに計115本の桜並木が完成する。



煙害に強いとされる
オオシマザクラ



ソメイヨシノ



日立紅寒桜

さくらを活かしたまちづくり

- 平成2(1990)年 日本の「さくら名所100選」に「かみね公園・平和通り」が認定される。
- 平成3(1991)年 助川山の山火事により、多数のオオシマザクラが焼失する。
- 平成7(1995)年 花樹の会が桜実態調査を実施し、市内に14,000本の桜があることを確認する。(山間部は除く)花樹の会が助川山へのヤマザクラ植林を開始し、平成12(2000)年までに約2,600本を植林する。
- 平成9(1997)年 日立市さくらのまちづくり市民会議が提言書「日立らしさを活かしたさくらのまちづくりに向けて」を市に提出する。
久慈町観光協会と花樹の会がみなと町にカワツザクラ・シュゼンジカンザクラを試験植樹する。
- 平成11(1999)年 市制60周年を記念して「私の好きな地域のさくら22選」が選定される。
- 平成13(2001)年 「第13回さくらサミットINひたち」を開催し、加盟自治体提供の苗木を記念植樹する。小木津駅の極早咲きの桜の名称を市民公募で「日立紅寒桜」と命名する。
- 平成18(2006)年 「日立紅寒桜」が種苗法に基づき農林水産省に品種登録される(品種登録名：日立紅寒)。
- 平成19(2007)年 「日立紅寒桜」が商標登録される。
- 平成29(2017)年 全国さくらシンポジウムin日立開催。「おぎつやよい」が種苗法に基づき農林水産省に品種登録される。「ひたち雅」が新品種として(公財)日本花の会に認定される。

平成

「さくらのまち日立」の原風景を次世代に引き継ぐまちづくり

- 令和元(2019)年 平和通り桜更新実施計画を策定。日立市都市建設部さくら課が発足。新田次郎著「ある町の高い煙突」が映画化。市有施設に関する桜の樹勢点検を実施する。
- 令和2(2020)年 桜の日常管理と保全についてのリーフレット「ずっといっしょひたちさくら」を発行。
- 令和3(2021)年 日立市さくらのまちづくり推進市民会議を設立。
- 令和4(2022)年 「～ひたちさくら彩(いろ)プラン～日立市さくらのまちづくり基本計画」を策定。コミュニティごとに地域を代表する桜を「わがまちの桜23選」として選定。



「ひたちさくら彩(いろ)プラン」

9 アクセス一覧



地区	No.	施設名称等	所在地	ページ
十王	1	* 櫛形幼稚園	十王町伊師本郷506	9
	2	十王スポーツ広場	十王町友部1936-1	9
	3	* 十王中学校	十王町友部600	9
	4	十王パノラマ公園	十王町友部1085-6	8
	5	十王ダムの石割桜	十王町高原地内	9
	6	二十三夜尊の桜	十王町高原地内	10
	7	たかはら自然塾	十王町高原396-1	10
	8	十王川周辺	川尻町4丁目地内	11
日高・豊浦	9	かわじり第1児童公園	川尻町1-336	11
	10	小木津山自然公園	小木津町字小木津山4194-2	11
	11	日高交流センター	日高町2-2-1	11
	12	しゅくひがし児童公園	日高町1-13	12
	13	どしまえ児童公園	田尻町3-2188-66	12
本庁	14	大煙突展望台	滑川本町地内	13
	15	滑川交流センター	滑川本町1-21-1	13
	16	鞍掛山	宮田町地内	7
	17	かみね公園	宮田町5-2-22	5
	18	熊野神社	白銀町1-1-3	13
	19	諏訪台桜塚三角公園	高鈴町3-13	13
	20	消防拠点施設防災広場	神峰町2-4-1	13
	21	* 宮田小学校	本宮町2-9-1	13
	22	* 中小路小学校	平和町2-4-1	13
	23	平和通り	平和町～神峰町地内	3
	24	* 助川小学校「五代桜」	助川町2-15-1	13
	25	* 会瀬小学校	会瀬町2-17-10	14
	26	◆ 日立工業専修学校	西成沢町2-17-1	14
	27	助川山	助川町字助川山	14
多賀	28	* 多賀中学校	鮎川町3-11-2	15
	29	諏訪のヤマザクラ	諏訪町3丁目地内	15
	30	石内さくら公園	諏訪町4-14	15
	31	桜川緑地	桜川町3丁目地内	15
	32	* 大久保小学校	末広町1-1-1	15
	33	おおくぼさくら公園	末広町1-1-2	16
	34	◆ 日立グローバルライフソリューションズ株多賀事業所	東多賀町1-1-1	15
	35	* 塙山小学校	金沢町2-14-1	15
	36	* 大沼小学校	東大沼町2-1-8	15
	37	台原中央公園	台原町1-109	16
南部	38	日輪寺	森山町3-15-36	16
	39	もりやま児童公園	森山町1-31	16
	40	* 大みか小学校	大みか町3-19-15	17
	41	◆ 日立研究所	大みか町7-1-1	17
	42	みなみこや第2児童公園	南高野町2-80	17
	43	いしがさく児童公園	久慈町6-39	18
	44	日立港都市再開発用地	みなと町地内	18
西部	45	奥日立きららの里	入四間町863-1	19
	46	油ヶ崎神社	下深荻町2575	19
	47	* 中里小中学校	東河内町1953-1	19

* 学校等の敷地内で観賞する際は、必ず職員室にお声掛けください。
 ◆ 日立工業専修学校・日立グローバルライフソリューションズ株多賀事業所・日立研究所は無断で敷地内に入って観賞することはご遠慮ください。